

【取扱い厳重注意】

平成24年5月7日

聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員 三田 浩平

平成24年4月27日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりである。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

内閣副広報官・官邸国際広報室長 四方 敬之
官邸国際室外国プレス担当官 中川 真太郎

2 聴取日時

平成24年4月27日午後3時00分から同日午後3時50分まで

3 聴取場所

官邸国際室内会議室

4 聴取者

事故調査委員会事務局 三田主査

5 ICレコーダーによる録音の有無等

 あり なし

第2 聴取内容

官邸における海外への広報について
別紙のとおり

第3 特記事項

破線部分は、平成24年4月27日16時40分頃、河村健太氏への電話により
確認した事項。(ICレコーダーによる録取なし。)

【取扱い厳重注意】

別紙

1 官邸広報室国際担当(官邸国際広報室)

私、四方敬之は、内閣副広報官として震災直後から官邸における広報、特に海外プレスへの情報発信についての対応をしていた。震災直後は、「官邸国際広報室」という正式な部屋がなく、官邸広報室の国際担当として、実員ベースで6名が官邸の4階において勤務していた。「官邸国際広報室」が設置されたのは、平成23年の6月頃である。(以下、官邸広報室の国際担当を「国際担当」という。)

2 官房長官記者会見録の英訳

官房長官記者会見録の英訳については、3月13日の深夜から(3月12日21時30分頃の回以降の)官房長官記者会見の英訳版を官邸ホームページに掲載し始めた(別添1参照。別添1 P.2の「◆長官会見2011年3月13日より掲載開始」の本枠で囲っている欄より上部が、官房長官記者会見録(英訳版)のファイルで、ファイル名に何日の何時の会見かが記載されており、「最終変更日」欄に、官邸ホームページへの掲載日時が記載されている)。同会見録の英訳については、国際担当と外務省とで分担しながら英訳作業をしていた。英訳作業について、英訳自体は業者に発注するのだが、業者から出された英訳原稿を国際担当や外務省職員がチェックした。しかしながら、国際担当は実員ベースで6名で、海外プレスからのインタビューや照会への対応が忙しく、英訳作業にあまり十分な時間が割けず、どうしてもタイムラグが生まれてしまう状況だった。

3 官房長官記者会見の同時通訳

総理大臣記者会見は、平時から毎回同時通訳を実施するのだが、官房長官記者会見に同時通訳を導入したのは3月16日午後の回からである。

原発事故後、官房長官記者会見が海外のニュースにおいて引用される場面が多く、また、3月15日頃には、海外メディアの福島原発事故に対する注目度も非常に高まっていると感じたことから、私は、官房長官記者会見を同時通訳して、タイムリーに外国メディアに発信する必要があると考え、千代内閣広報官に同時通訳を官房長官記者会見に導入するよう進言した。その後、千代広報官は枝野官房長官から了承を得たようで、私は、千代広報官から官房長官記者会見の同時通訳を準備するよう言われ、3月16日18時頃からの官房長官記者会見から同時通訳を導入した。

4 海外プレスからの照会対応等

原発事故直後から、海外プレスからの照会やインタビューの要求が大変多くなって来たために、枝野官房長官や福山官房副長官からの了承を得て、3月13日から私が海外プレスからの照会やインタビューに対応することとなった(別添2参照)。私たちの情報源は、官房長官記者会見録や、震災直後に保安院に併任となり、ERCの方へ行ってしまった内閣広報官付の職員が、個人的に国際担当に共有してくれていた情報だった。

事故の数日後から、海外プレスからの枝野官房長官本人へのインタビューの要求がくるようになり、日に日にその件数も増えていった。枝野官房長官は、多忙を極めていた

【取扱い厳重注意】

ため、初めてインタビューに対応する時間を取れたのが3月20日（CNN(米)）であった。その後、枝野官房長官は、数回海外プレスからのインタビューに答えた（別添3、別添4 P.1 参照）。

5 官邸主体の海外プレス向けブリーフィングについて

3月21日以後（4月25日までは毎日）、官邸において、官邸が主体となり各省事務方が集まって、海外プレス向けにブリーフィングを実施した（別添4、P.5 参照）。保安院からは、XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX西山審議官が同記者会見に参加することとなった。

官邸は、セキュリティ上、日本語が話せない記者が入館することが非常に面倒であったため、4月1日くらいから、フォーリン・プレス・センターや日本外国特派員協会において開催するようになった。

6 海外への情報発信についての意見

私は、今回の事故対処を踏まえて、広報官を海外プレスの対応に慣れさせるとともに海外プレスとの関係性を築くために、平時から官房長官記者会見の同時通訳をしたり、官邸が海外プレスに対するブリーフィングを行う必要があると考えているため、それに必要な予算や定員の増加を今年に要求したが、結局、新たな予算も定員もほとんどもらえなかった。

また、今回の原発事故の様な場合に、特に、新しい原子力規制庁などにおいて、英国首相府の首席科学顧問、ジョン・ベディングトン(John beddington) 氏の様な、科学に係る知識を有した広報官を養成することが重要であると考えている。

以上

(別添 1)

三田 浩平 (原発事故委員会事務局)

差出人: 河村 健太 (官邸・国際広報室)
送信日時: 2012年4月27日金曜日 16:39
宛先: 三田 浩平 (原発事故委員会事務局)
CC: 四方 敬之 (官邸・国際広報室); 河崎 麻里子 (官邸・国際広報室);
[REDACTED]
件名: 【資料送付】震災時のウェブ対応開始時期
添付ファイル: 震災ウェブ対応.pptx

原発事故調査検証委員会事務局 三田主査

お世話になっております。
本日は官邸まで御足労いただきありがとうございました。

ご依頼の資料 (震災時のウェブ対応の開始時期の根拠となるデータ) を添付の通りお送りします。ご確認ください。

今後とも何卒よろしくお願いたします。

官邸 国際広報室
河村 拝
[REDACTED]

◆総理会見 2011年3月11日より掲載開始

http://www.irs.gov/foreign/press/201103

アップロードファイル一覧

検索
 検索対象 : ファイル名 テイクトリ名 テイクトリパス 登録者 最終更新日
 利用期間 : 下位テイクトリを含む
 検索語 :

検索対象	ファイル名	ファイルパス	登録者	最終更新日
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	0message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-07-27 16:14:39
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	2message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-07-27 16:14:38
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	3force_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-04-05 16:20:37
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	2message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-09-22 15:18:45
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	18message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-03-22 15:12:29
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	15message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-03-22 14:09:57
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	12message_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-09-22 14:09:56
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	17statement_e.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-11 21:09:00
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	11shibahappo_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-03-11 21:09:00
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/statements/201103/	08senba_e.html	野田大輔(mrbach)	2011-03-03 16:02:17

◆長官会見 2011年3月13日より掲載開始

http://www.irs.gov/foreign/press/2011

アップロードファイル一覧

検索
 検索対象 : ファイル名 テイクトリ名 テイクトリパス 登録者 最終更新日
 利用期間 : 下位テイクトリを含む
 検索語 :

検索対象	ファイル名	ファイルパス	登録者	最終更新日
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110312_2130.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-14 18:04:23
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_1530.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-14 18:04:23
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_1950.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-14 18:04:22
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_1550.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-14 18:04:22
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_2000.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-14 18:04:21
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_1100_09.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-13 22:14:34
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	110313_1100.html	北原 翔之(mrbach)	2011-03-13 22:14:34
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	secretary_bill_roosevelt.htm	北原 翔之(mrbach)	2011-03-13 14:17:29
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	20110313instruction_Chief_Cabinet_Secretary.pdf	野田大輔(mrbach)	2011-03-12 06:17:05
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	20110313uclear_Emergency.pdf	野田大輔(mrbach)	2011-03-11 22:26:42
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	20110313_bishahara_ishiy.pdf	野田大輔(mrbach)	2011-02-07 11:18:55
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	20110314_basic_policy.pdf	野田大輔(mrbach)	2011-01-24 17:23:47
<input type="checkbox"/>	/foreign/press/2011/	20110318_recques_ataki.pdf	野田大輔(mrbach)	2011-01-19 14:59:43

東北地方太平洋沖地震関連外国プレスインタビュー
(四方内閣副広報官対応)

2012年3月
官邸 国際広報室

四方内閣副広報官が応じた外国プレスインタビューは以下のとおり(3月22日現在125件(時間はすべて日本時間))。

1. 3月(16件)

- ✓ オレゴニアン紙(22日)(FPCJ)
- ✓ ASEAN環太平洋諸国記者グループ(22日)(外務省招聘)
- ✓ 中国記者グループ(22日)(外務省招聘)
- ✓ 中国CCTV(21日)
- ✓ 国際ジャーナリスト会議参加記者グループ(19日)(外務省招聘)
- ✓ ワシントン・ポスト(15日)(FPCJ)
- ✓ 香港亜洲週刊(12日)
- ✓ 上海メディアグループ第一財經(9日)
- ✓ ブルームバーグTV(9日)
- ✓ CNN(電話)(8日)
- ✓ 中東アフリカ諸国記者グループ(8日)(外務省招聘)
- ✓ ニューージーランド国営ラジオ(8日)
- ✓ イスラエル・イエディオット・アハロノット紙(6日)
- ✓ アフリカ仏語圏諸国記者グループ(6日)(外務省招聘)
- ✓ アフリカ英語圏諸国記者グループ(5日)(外務省招聘)
- ✓ アルジャジーラ・イングリッシュ(2日)

2. 2月(11件)

- ✓ ベトナム・ニュース・エージェンシー(29日)
- ✓ フィンランド国営放送(29日)
- ✓ BBCワールド・ラジオ(電話)(28日)
- ✓ TIME誌(24日)
- ✓ スウェーデン Svenska Dagbladet 紙(23日)
- ✓ オーストリア PULS4(23日)
- ✓ チリ・エル・メルクリオ紙(20日)(外務省招聘)
- ✓ 中国・羊城晩報(17日)
- ✓ 中国・新浪財經(17日)
- ✓ アジア太平洋地域10か国記者(8日)(外務省招聘)

- ✓ アルジャジーラ (書面インタビュー) (16日)
- ✓ ブルームバーグ (ビジネスウィーク特集号) (17日)
- ✓ ドイツ第二公共放送 (ZDF) (24日)

9. 7月 (2件)

- ✓ 韓国招へい記者 (外務省招へい) (11日)
- ✓ ASEAN 招へい記者 (外務省招へい) (25日)

10. 6月 (2件)

- ✓ ダーゲンス・インダストリ紙 (スウェーデン) (7日)
- ✓ 広州日報 (中国) (9日)

11. 5月 (1件)

- ✓ Bloomberg (News Room) (13日)

12. 4月 (2件)

- ✓ Bloomberg (News Room) (11時30分頃, ライブ) (13日)
- ✓ Hindu Newspaper (21時頃) (12日)

13. 3月

(1) 13日 (7件)

- ✓ AP (15時頃)
- ✓ Economist (15時頃)
- ✓ NZ radio (17時頃)
- ✓ CNN (19時頃)
- ✓ BBC World TV/BBC News Domestic Television (同じインタビュー) (20時頃)
- ✓ ABC (Christiane Amanpour による電話インタビュー) (21時頃)
- ✓ BBC World News/ World Have Your Say (24時頃)

(2) 14日 (9件)

- ✓ Bloomberg (London) (10時頃)
- ✓ フィリピン・チャンネル11 (11時頃)
- ✓ CNBC Asia (14時頃)
- ✓ ABC (Christiane Amanpour による対面インタビュー) (14時30分)
- ✓ ラジオNZ (15時25分頃)
- ✓ ロサンゼルス・タイムズ (16時30分頃)
- ✓ BBC World (15時20分)
- ✓ CNBC Europe (15時30分)

- ✓ CNBC Asia (10時10分、ライブ)
- ✓ BBC Scotland (14時30分頃)
- ✓ Bloomberg TV in London (17時10分頃、FRANCINE LACQUAによるインタビュー)

(7) 19日 (3件)

- ✓ CNN (10時、ライブ、Pierce Morgan)
- ✓ ZVEZDA (露) (15時30分頃、対面インタビュー、録画)
- ✓ BBC Radio4 (23時)

(8) 20日 (2件)

- ✓ New Zealand Radio (11時30分頃)
- ✓ China Newsweek (15時30分頃)

(9) 21日 (5件)

- ✓ CNBC Asia (10時30分頃、ライブ)
<http://www.cnbc.com//id/15840232?video=1851071859&play=1>
- ✓ BBC World (15時30分頃、ライブ)
- ✓ BBC World (17時10分頃)
- ✓ CNBC Europe (18時10分頃、ライブ)
- ✓ CNN international (22時頃)

(10) 22日 (1件)

- ✓ CNBC Europe (16時30分頃、ライブ)

(11) 23日 (2件)

- ✓ BBC World (15時05分、ライブ)
- ✓ BBC World (20時20分、ライブ)

(12) 25日 (1件)

- ✓ BBC Radio 4 (World at one, 21時30分)

(13) 30日 (1件)

- ✓ NPR (14時頃)

(了)

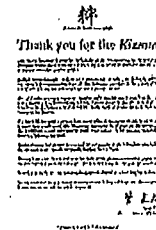
菅総理(当時)によるメッセージ・寄稿・広告の発出

1. 主要海外紙への総理による論説投稿 (Op-Ed)

- ・「日本—復興、そして新生への道— (Japan's Road to Recovery and Rebirth)」と題する論説投稿 (Op-Ed) を寄稿
 - －米ワシントンポスト (4月17日付)
 - －インターナショナル・ヘラルド・トリビューン紙 (16-17日)
- ・在外公館から働きかけ、計62か国・地域の128メディアで掲載 (5月11日現在)

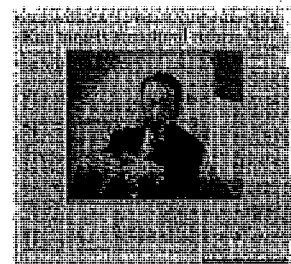
2. 諸外国の新聞における総理名の感謝広告の掲載

- ・グローバル3紙 (インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ウォール・ストリート・ジャーナル、フィナンシャル・タイムズ) に加え、中、韓、仏、露の4か国の新聞に感謝広告を掲載し、謝意を表明 (4月11日)。
- ・世界の63ヶ国・地域の216紙で無料掲載が実現 (5月11日現在)。



3. 諸外国に対する総理の感謝メッセージの発信

- ・諸外国に対する総理メッセージを発出(3月22日)、多言語化し、各在外公館のHPに掲載
 - －日本語、英語及びその他39言語
- ・震災発生後1か月の機会 (4月11日) に諸外国からの援助に対する総理感謝メッセージを発出。官邸HPに英語・日本語で掲載。各在外公館のHPに数か国語で掲載。
http://www.kantei.go.jp/foreign/kan/statement/201104/11kizuna_e.html



4. 外国プレス対面インタビュー

- ・FT紙による対面インタビューを実施 (5月21日)

Xxxxxx/Footer

首相官邸 国際広報室

6

枝野官房長官、福山官房副長官、辻元補佐官(それぞれ当時)による発信

1. 枝野官房長官

(1) 対面インタビュー

- ・CNN(米) (3月20日)、トムソンロイター (24日)、ウォール・ストリート・ジャーナル (30日)
- ・ファイナンシャルタイムズ (31日)、香港フェニックスTV (4月21日)、中国中央TV (CCTV)
- ・ウォール・ストリート・ジャーナル (22日)、BBC (6月24日)



(2) グループインタビュー (含、福島県産イチゴの試食) (4月10日)

- ・ニューヨークタイムズ、CBS News、ブルームバーグ、The Economist、BBC

(3) 世界経済フォーラム・グローバルリスク会議 (ビデオメッセージ (4月7日) 及び冒頭スピーチ (5月18日))

World Economic Forum, Global Risks Conference (Video message (April 7) and opening speech (May 18))

(4) 外国プレス記者会見の実施 (4月12日)

※ 東日本大震災後、外国プレスがより参加しやすいよう、同時通訳を導入し (3月16日午後以降)、官房長官会見 (通例、毎日2回) 動画 (英語) を政府インターネットTVチャンネル11で放映 (3月24日)。

2. 福山官房副長官

(1) 福山前副長官による外国プレス記者会見 (3月20日及び21日)

Foreign press conference by Mr. Fuyama (March 20 and 21)

(2) 福山前副長官による外国プレス対面インタビュー

- ・ドイツ系メディア大手RTL (3月29日)、ウォール・ストリート・ジャーナル (7月4日)



3. 辻元補佐官による外国プレスインタビューの実施

- ・陳言氏 (中国)、Monocle誌 (英) (5月16日)、フィナンシャル・タイムズ (6月23日)

Xxxxxx/Footer

首相官邸 国際広報室

7

ホームページ及びソーシャルメディアの活用

1. 今般の地震対策の特設ページを設置

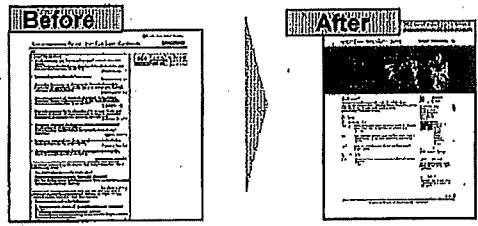
- ・ 総理メッセージ、官房長官会見等を英訳しHPに掲載。各省が作成している英文ウェブサイトへのリンクを掲載。8月26日に震災特設ページをリニューアル。1月31日英語版リニューアル
- ・ <http://www.kantei.go.jp/foreign/incident/index.html>

2. 英語版Twitterを開始

- ・ 官邸日本語twitterに対応するかたちで、英語版twitter（アカウント@JPN_PMO）を開始（3月16日）
- ・ フォロワー数は現在53,600以上

3. 英語版Facebookの立ち上げ

- ・ Facebookに官邸のアカウント（Prime Minister's Office of Japan）を立ち上げ、情報提供を3月23日から開始



リニューアルの5つのコンセプト
 ①羅針盤機能の強化、②メッセージを意識した情報掲載、③復興を象徴するVisualの強化、④ソーシャル連携、⑤色彩の統一

岡田副総理、細野原発事故担当相・古川経済財政担当相による情報発信

1. 岡田副総理

- ・ Bloomberg, ロイター, WSJ/Dow Jones (2月23日)



2. 細野原発担当大臣（前総理補佐官）

(1) 外国プレス対面インタビューの実施

- ・ ウォール・ストリート・ジャーナル（4月23日）
- ・ フィナンシャル・タイムズ（4月23日）
- ・ ウクライナTV（4月26日）
- ・ フィナンシャル・タイムズ（6月22日）
- ・ ビル・エモット（6月23日）
- ・ New York Times（7月11日）
- ・ トムソン・ロイター（7月15日）
- ・ The Economist（7月26日）
- ・ 欧州記者（9月7日）
- ・ CCTV（9月10日）
- ・ AP, AFPによる合同インタビュー（11月4日）
- ・ WSJ（12月21日）
- ・ BBC/PBSによる震災1周年記念番組（1月21日）
- ・ FT（2月21日）
- ・ 合同インタビュー（AP, Bloomberg, Economist, ロイター, 朝鮮日報, 中央日報）（2月23日）

(2) 外国プレスへのブリーフィング

- ・ AP, AFP, BBC, Bloomberg, FT, NPR, NYT, WSJ等（5月31日, 6月23日, 8月10日）
- ・ 外国人特派員協会（FCCJ）（5月9日）（12月16日）
- ・ フォーリン・プレス・センター（FPCJ）（4月17日, 27日, 5月9日, 17日）



3. 古川経済財政担当相による対面インタビュー

- ・ WSJ（12月8日、1月17日）
- ・ The Economist（1月25日）



官邸国際広報室による情報発信

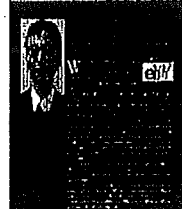
1. 内閣副広報官による電話・対面インタビューへの対応

- ・ ABC, BBC, Bloomberg, CNN, CNBC, FOXをはじめとする外国プレスからのインタビューを89回実施（12月1日時点）
- ・ 震災後の対応が評価され、香港を拠点とするPR専門誌Public Affairs Asiaより内閣副広報官がGold Standard Award（政治コミュニケーション部門）を受賞

2. 内閣副広報官によるTwitterでの情報発信

- ・ 内閣副広報官であることを明記し、@norishikata名義で邸公式英語Twitterを補完する形で英語で発信（フォロワー数は現在12,000人以上）

新浪微博（China Weibo）においても四方敬之名で発信を開始（フォロワー数は約3,000人）



3. 震災関連講演等

- ・ 世界経済フォーラム・グローバルリスク会議への参加：内閣副広報官、国際広報戦略推進官（4月7日及び5月18日）
- ・ 在京豪NZ商工会議所でパネル討論会：内閣副広報官（4月13日）
- ・ エコノミスト誌主催チャリティーイベントでの挨拶：国際広報戦略推進官（4月14日）
- ・ 食の安全に関するパネル討論会へ参加（FCCJ）：内閣副広報官（5月10日）
- ・ 在日米商工会議所（ACCJ）主催の東北情報プロジェクトパネルへの参加：内閣副広報官（7月8日）
- ・ 復興セミナー（ブライズウォーターハウスグループ主催）：内閣副広報官（7月26日）
- ・ 外資系企業向けブリーフ：内閣副広報官（7月27日）
- ・ サマーダボス会議における「危機コミュニケーションセッション」へのパネリスト参加：内閣副広報官（9月14日）
- ・ 在日米商工会議所（ACCJ）主催のパネル討論会：内閣副広報官（10月3日）
- ・ 「21世紀におけるイノベーションとデジタル外交」（仏パリ）（サルコジ大統領ニューメディア・ITアドバイザー及びクリントン米国务長官イノベーション上級顧問主催）：内閣副広報官（10月5日）
- ・ Global Economic Symposium（独キール）：内閣副広報官（10月7日）
- ・ 'Taste of Tomorrow'食の安全フォーラム（在京豪大使館主催）パネル参加：内閣副広報官（11月2日）
- ・ 東の食の復興フォーラム（於：仙台）パネル参加：国際広報戦略推進官（11月30日）
- ・ 'Reimagining Japan'イベント（マッキンゼー&ハーバードクラブ香港共催）（於：香港）パネル参加：内閣副広報官（1月13日）
- ・ 名古屋大学国際言語文化研究科メディアプロフェッショナル主催講座「福島原発をめぐる日本の国際コミュニケーション」パネル参加：内閣副広報官（2月3日）
- ・ グロービス主催パネル討論会「信頼される政府・企業・NGO・メディアへ～EDELMANトラストバロメーターから考える経営～」パネル参加：内閣副広報官（2月7日）

Xxxx-xx/Fooler

首相官邸 国際広報室

10

各省事務方によるブリーフィングの実施

各省庁関係者よりブリーフィングを実施（3月21日～4月25日は原則毎日）

- ・ 官邸・国際広報室
- ・ 原子力安全・保安院
- ・ 原子力安全委員会
- ・ 文部科学省
- ・ 厚生労働省
- ・ 農林水産省／水産庁
- ・ 外務省（必要に応じ、内閣府、国土交通省、環境省も参加）

実施後、官邸HPに英語動画及びトランスクリプトを掲載

- ・ <http://www.kantei.go.jp/foreign/incident/index.html>

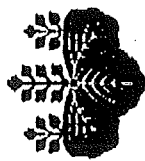
4月27日以降年末まで、より幅広い関係者に情報発信するため、場所を官邸、フォーリン・プレス・センター（FPCJ）、外国人特派員協会（FCCJ）と順次開催。

Xxxx-xx/Fooler

首相官邸 国際広報室

11

(別添4)



首相官邸

東日本大震災と官邸国際広報活動

2012年4月

首相官邸 国際広報室

枝野官房長官による発信

1. 官房長官会見に日英同時通訳を導入

- ・ 外国プレスがより参加しやすいよう、同時通訳を導入(3月16日午後以降)。
- ・ 官房長官会見(通例、1日2回)の動画(英語)を政府インターネットTVチャンネル11で放映(3月24日午後以降)

<http://netv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2042.html>

2. 対面インタビュー

- ・ CNN(米)(2011年3月20日)、トムソンロイター(24日)、ウォール・ストリート・ジャーナル(30日)
- ・ ファイナンシャルタイムズ(31日)、香港フェニックスTV(4月21日)、中国中央TV(CCTV)(21日)
- ・ ウォール・ストリート・ジャーナル(22日)、BBC(6月24日)

3. グループインタビュー(含、福島県産イチゴの試食)(2011年4月10日)

- ・ ニューヨークタイムズ、CBS News、ブルームバーグ、The Economist、BBC

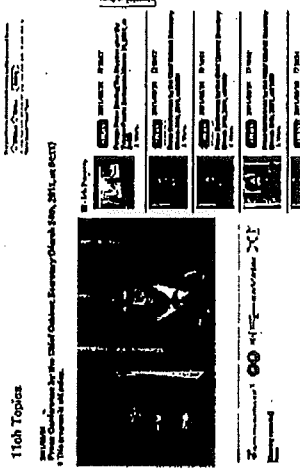
4. 世界経済フォーラム・グローバルリスク会議(ビデオメッセージ)(2011年4月7日)及び冒頭スピーチ(5月18日)

http://www.kantei.go.jp/foreign/incident/110407_wefmessage.html

<http://www.kantei.go.jp/jp/tyokan/kan/2011/110518wefmessage.html>

5. 外国プレス記者会見の実施(2011年4月12日)

※ 東日本大震災後、外国プレスがより参加しやすいよう、同時通訳を導入し(3月16日午後以降)、官房長官会見(通例、毎日2回)動画(英語)を政府インターネットTVチャンネル11で放映(3月24日)<http://netv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2042.html?c=1>



細野原発事故担当大臣(前総理補佐官)による情報発信

1. 外国プレス対面インタビューの実施(15件)

- ウォールストリート・ジャーナル(2011年4月23日)
- ファインシヤル・タイムズ(4月23日)
- ウクライナTV(4月26日)
- ファインシヤル・タイムズ(6月22日)
- ビル・エモット(6月23日)
- ニューヨーク・タイムズ(7月11日)
- トムソン・ロイター(7月15日)
- The Economist(7月26日)
- 欧州記者(9月7日)
- CCTV(中国)(9月10日)
- AP, AFPによる合同インタビュー(11月4日)
- ウォールストリート・ジャーナル(12月21日)
- BBC/PBSによる震災1周年記念番組
(2012年1月21日)
- ファインシヤル・タイムズ(2月21日)
- 合同インタビュー(AP, Bloomberg, Economist, 口イター, 朝鮮日報, 中央日報)(2月23日)

2. 外国プレスへのブリーフイング

- AP, AFP, BBC, Bloomberg, FT, NPR, NYT, WSJ等
(2011年5月31日, 6月23日, 8月10日)
- 日本外国特派員協会(FCCJ)
(2011年5月9日, 12月16日)
- フォーリン・プレス・センター(FPCJ)
(2011年4月17日, 27日, 5月9日, 17日)



ホームページ及びソーシャルメディアの活用

1. 今般の地震対策の特設ページを設置

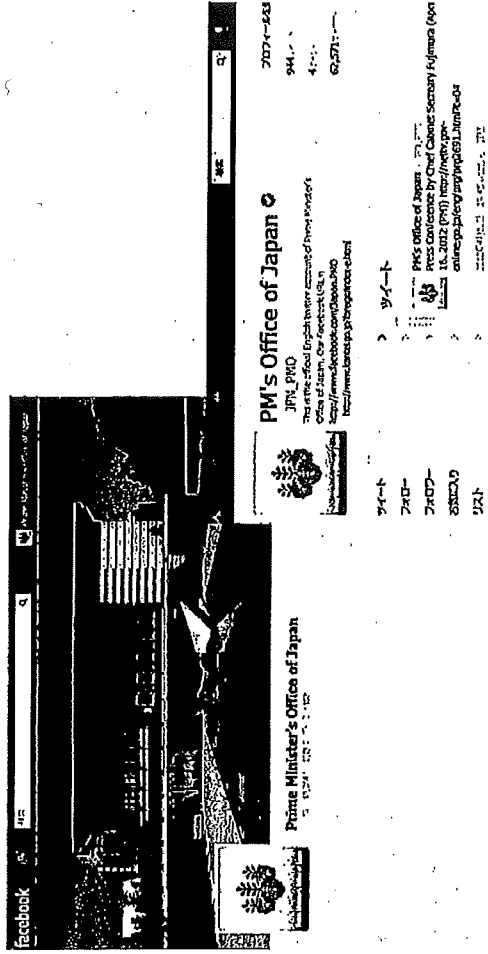
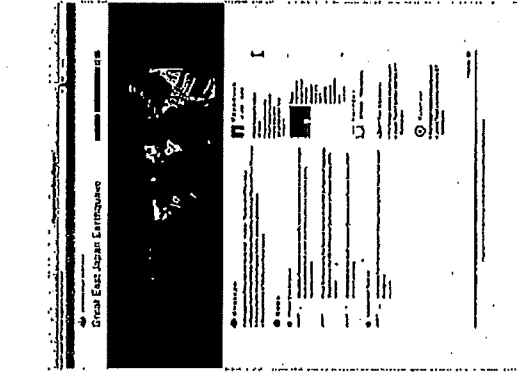
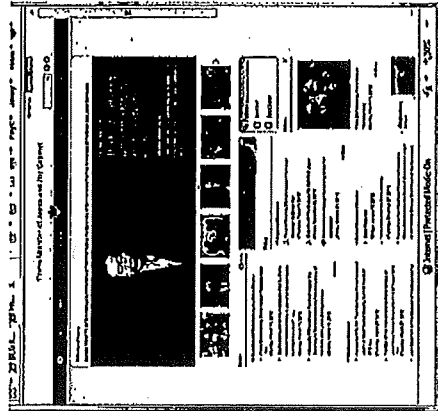
- ・ 総理メッセージ、官房長官会見等を英訳しHPに掲載。各省が作成している英文ウェブサイトへのリンクを掲載。8月26日に英語版震災特設ページをリニューアル。1月31日に英語版HPの全面的リニューアル。
- ・ <http://www.kantei.go.jp/foreign/incident/index.html>

2. 英語版Twitterを開始

- ・ 官邸日本語twitterに対応するかたちで、英語版twitter(アカウント@JPN_PMO)を開始(3月16日)
- ・ フォロワー数は61,000以上(2012年4月現在)

3. 英語版Facebookの立ち上げ

- ・ Facebookに官邸のアカウント(Prime Minister's Office of Japan)を立ち上げ、情報提供を3月23日から開始
- ・ 「いいね！」数は10,000以上(2012年4月現在)



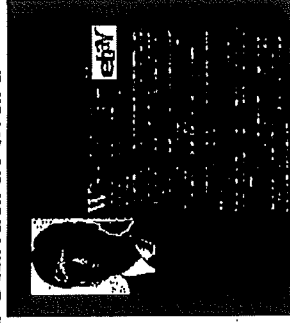
官邸国際広報室による情報発信

1. 内閣副広報官による電話・対面インタビューへの対応

- ABC, BBC, Bloomberg, CNN, CNBC, FOXをはじめとする外国プレスからのインタビューを125回実施 (3月22日現在)
- 震災後の対応が評価され、香港を拠点とするPR専門誌Public Affairs Asiaより内閣副広報官がGold Standard Award (政治コミュニケーション部門) を受賞

2. 内閣副広報官によるTwitterでの情報発信

- 内閣副広報官であることを明記し、@norishikata名義で郵公式英語Twitterを補完する形で英語で発信 (フォロワー数は現在12,000人以上)
- 新浪微博 (China Weibo) においても「四方敬之」名で発信を開始 (フォロワー数は約3,000人)



3. 震災関連講演等

- 世界経済フォーラム・グローバルリスクス会議への参加：内閣副広報官、国際広報戦略推進官 (2011年4月7日及び5月18日)
- 在京豪NZ商工会議所でパネル討論会：内閣副広報官 (4月13日)
- エコノミスト誌主催チャリティイベントでの挨拶：国際広報戦略推進官 (4月14日)
- 食の安全に関するパネル討論会へ参加 (FCCJ)：内閣副広報官 (5月10日)
- 在日米商工会議所 (ACCJ) 主催の東北情報プロジェクトパネルへの参加：内閣副広報官 (7月8日)
- 復興セミナー (プライズウォーター・ハウス・クーパーズ主催)：内閣副広報官 (7月26日)
- 外資系企業向けブリーフ：内閣副広報官 (7月27日)
- サマータボス会議における「危機コミュニケーション」へのパネリスト参加：内閣副広報官 (9月14日)
- 在日米商工会議所 (ACCJ) 主催のパネル討論会：内閣副広報官 (10月3日)
- 「21世紀におけるイノベーションとデジタル外交」(仏パリ) (サルコジ大統領ニューメディア・ITドヴァイザー及びクリントン米国務長官イノベーション上級顧問主催)：内閣副広報官 (10月5日)
- Global Economic Symposium (独キール)：内閣副広報官 (10月7日)
- 「Taste of Tomorrow」食の安全フォーラム (在京豪大使館主催) パネル参加：内閣副広報官 (11月2日)
- 東の食の復興フォーラム (於：仙台) パネル参加：国際広報戦略推進官 (11月30日)
- 「Reimagining Japan」イベント (マッキンゼー&ハーバードクラブ香港共催) (於：香港) パネル参加：内閣副広報官 (2012年1月13日)
- 名古屋大学国際言語文化研究科メディアプロフェッショナル主催講座「福島原発をめぐる日本の国際コミュニケーション」パネール参加：内閣副広報官 (2月3日)
- グロービス主催パネル討論会「信頼される政府・企業・NGO・メディアへ ~EDELMANトラストパロメーターから考える経営~」パネール参加：内閣副広報官 (2月7日)

各省事務方によるブリーフィングの実施

各省庁関係者よりブリーフィングを実施(2011年3月21日～4月25日は原則毎日)

- 官邸・国際広報室
- 原子力安全・保安院 加取 氏
- 原子力安全委員会
- 文部科学省
- 厚生労働省
- 農林水産省／水産庁
- 外務省 (必要に応じ、内閣府、国土交通省、環境省も参加)

室長 プレス向け

実施後、官邸HPに英語動画及びトランスクリプトを掲載

- <http://www.kantei.go.jp/foreign/incident/index.html>

2011年4月27日以降年末まで、より幅広い関係者に情報発信するため、場所を官邸、フォーリン・プレス・センター(FPCJ)、日本外国特派員協会(FCCJ)と順次開催。